

天狗岳山行記

【日程】 2016 年 12 月 10 日（土）日帰り山行

【目的地】 天狗岳（日本二百名山） 2,646m

【ポイント】 雪上トレーニング

【メンバー】 やまたくお（L）、ハンブルクの星

今年は昨年よりは雪也多そうで雪上訓練を兼ねて天狗岳登頂を目指した。渋の湯近辺の道路は凍結していた。駐車場（キャパ 15 台）は有料。既に 6 台くらい駐車。続々後続の車も到着という状況。



駐車場から渋の湯登山口へ

登山口の渋の湯では積雪は数センチ程度だったが、登山口から 10 分ほどの高見石との分岐を過ぎたあたりから 10 cm ほどの積雪になる。さらに高度をかせぐにつれて雪の量も増えてきて、木道は雪に埋もれている状態。天候は時折雪も舞っていたが、曇り・ガスの状態なのでこれでは山頂に立っても展望は得られないだろうと半ば諦めていたが、黒百合ヒュッテに着いた頃から時折薄っすらと太陽も見え隠れし始めてきた。晴れ間よ出て来てくれ！と祈る。



分岐から黒百合ヒュッテへ

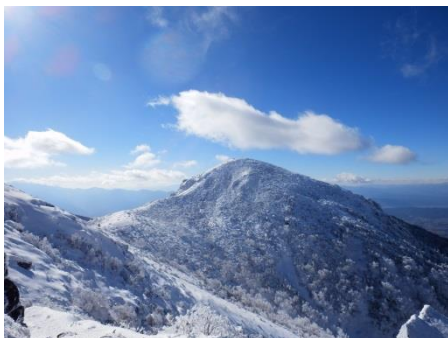


黒百合ヒュッテ

ここから先は岩稜帯も越えるのでヒュッテでアイゼンを装着し、ゴーグル、目出し帽もすぐにつけられるように用意した。踏み跡を進みながら中山峠からの樹林帯を抜けるころには祈りが通じたのか、ガスも晴れて青空が見えてきた。積雪はさらに増えて 30 c m くらいになる。岩稜帯は冰雪で凍っていたのでアイゼンをしっかり効かせて行動した。岩稜帯を超えて稜線に出ると今度は強烈な風に見舞われるが、展望が一気に開けて北は縞枯山、北横岳、蓼科山、東にはこの秋に登ったニュー、稲子岳などを眺望する。気温はマイナス 7 ～ 10 度ぐらいか、稜線上は強烈な風なので常時登っていないとかなり寒かった。



東のニューと稲子岳



西の西天狗岳



南の硫黄岳、赤岳方面



北の縞枯山、北横岳、蓼科山など

さらに高度をあげて山頂直下での岩場を過ぎると東天狗岳の山頂に立つ。強烈な風の効果なのかガスは完全に晴れて 360 度の大展望を得られた。計画ではここから西天狗岳を登頂することになっていたが、この強風下で明るいうちに下山を完了するには時間的に厳しいと判断し、登頂は断念して下山を開始した。



東天狗岳山頂



強風下の東天狗岳山頂にて



山頂から中山峠への下り

黒百合ヒュッテに戻り暫し休憩。テント場は5～6張ぐらいで幕営する登山者が10人ほどテントを設営中だった。当日の天狗岳の登山者は全部で40～50人くらいか、ツアー登山と思しき団体もあったが、主に殆どが若い20～30代の登山者で我々のような年配登山者には何故かほとんど会わなかった。

この冬初めての雪山山行だったが、昨年に比べて雪もしっかりあり、展望も得られていい雪山トレーニングになった。

【行程】

8:00 渋の湯登山口駐車場到着 — 8:20 渋の湯登山口出発
10:50～11:20 黒百合ヒュッテ — 12:40～13:00 東天狗岳山頂
13:50～14:20 黒百合ヒュッテ — 16:10 渋の湯登山口に戻る。

文：ハンブルクの星